

## 抗 Sua7 / TFIIB (*S. cerevisiae*) 抗体、ウサギ抗血清、ChIP grade

62-009 100 µl

保存：4℃または-20℃で送付、-20℃で保存

免疫原：組換え体全長 Sua 7 タンパク質 (1-346 aa)

形状：0.1%アジ化ナトリウム添加抗血清

反応性：*S. cerevisiae* Sua7 タンパク質

### 用途

1. ウェスタンブロット (1/1,000-1/5,000)
2. 免疫沈降
3. Chromatin Immuno-Precipitation (ChIP)
4. ELISA

**背景：**基本転写因子 TFIIB は、TATA ボックス結合タンパク質 (TBP) の DNA 結合を安定化するとともに、それ自身が構造変化を起こすことにより、直接 DNA に結合する性質を持つ。また N 末端領域は RNA ポリメラーゼ II の RNA チャンネルに結合し、転写開始点の決定とプロモータークリアランスにおいて重要な役割を果たす。Sua7p は出芽酵母の TFIIB であり、346 個のアミノ酸残基 (aa) から構成される。

データリンク SGD [SUA7/YPR086W](#)

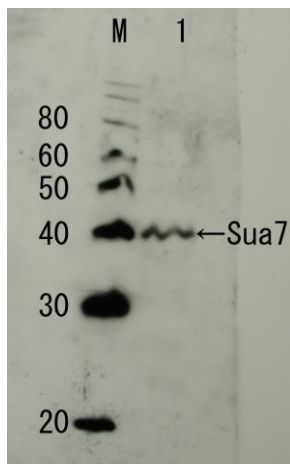


図 Endogenous 出芽酵母 Sua7 のウェスタンブロット

M: マーカートンパク質 (kDa)

1 : 出芽酵母細胞抽出液

抗血清は、5,000 倍希釈して使用

Sua7 タンパク質の分子質量は 41 kDa

**文献：**本抗体は以下の論文で記載され使われている。

Kasahara K. et al. Hmo1 directs pre-initiation complex assembly to an appropriate site on its target gene promoters by masking a nucleosome-free region. [Nucleic Acids Res.](#) 2011 May;39(10):4136-50. PMID: [21288884](#) ChIP